

# 原告団

## 遺族・CO裁 判、災害責任 追及、特集号

第八十九号

### 原告団レポート

#### 遺族——

#### 岩崎久子 さん

子さんのさびしい住まいがある。いままでもなく久子さんは、昭和三十八年十一月九日に起きたあの三川鉦大爆発で、夫の命を奪われた人。

亡夫の名は「はじめ」さん。大正十一年三月二十日の生れだったから四十一歳のときのことだ。生きていれば今年五十五歳。停年を迎えるはずだ。たの……

「久子さんは、一さんよりひとつとしようの大正十年一月二十一日生れだから、今年五十六歳。二人の子もいる。うえが女で縋子さん、二十一歳(昭和三十一年十月十六日生れ)。北九州市の某病院に勤めながら、高等看護学校に通い勉強中。月一水一金と……」

二人の子もいる。うえが女で縋子さん、二十一歳(昭和三十一年十月十六日生れ)。北九州市の某病院に勤めながら、高等看護学校に通い勉強中。月一水一金と……

### シン踏み

勤めは、あの爆発後三池労組の強い要求にもつき、大量にくり出された遺族の生活対策の一つの手だてとして、現地に誘致された。……



上の写真は、まん中の人のが故人。下は、故人が生前植えた桜の木。大きく育つたが、

上は、故人が生前植えた桜の木。大きく育つたが、……

## 歩いてきたはるかな道

今では、二人の子どもも立派に成長した

### でも、思い出すだけゾツとする

「さうして三井天領病院へ。結果は、「ハイ、よろしい」だった。……

### 工場勤めへ

毎日、後ろ髪ひかれる思いの出動だった。……

### 思わぬ水死

これはある日のこと、母親のいぬの出来ごとだった。……

### 子ども心

「もしもうちの子どもたちが、あんなことでもなってしまうたらどうしよう」……

### 夫の思い出

久子さんの病氣は高血圧症。一昨年の九月十日に行なわれた、工場での検診にひかかった。……

### 子らは成長

それでも、亡夫から託された二人の子どもの立派に成長したのがある。……

### 遙かな足跡

思えば、三池の遺族として生きてきた十三年余りの日々。……

その作文の内容がなんと、父親をうしなつたあとの悲しき、さびしさを小筆で綴つてつづつたものだった。……